

# “とちぎ建設業合同企業説明会”に 参加して 【高校生・先生・保護者の方々にインタビュー】



真岡工業高等学校  
建設科  
市村美沙輝さん



## ●工業高等学校に進学した理由は何ですか。

祖父と父が建築関係の仕事をしていたため、小さい頃からその姿に憧れをもっていました。形に残る事がしたいと思い、そのためには工業高校に進学するのが最適だと思い進学を決めました。

## ●本日とちぎ建設業合同企業説明会に参加した感想をお聞かせください。

学校で勉強だけしていても、就職先がどんなところかよくわからないことが多いですが、このような説明会では、企業が何をしているのか説明してくれる良い機会だったので参加して良かったと思います。

## ●栃木県内の建設業界のイメージをお聞かせください。

世間一般的に3Kと言われていますが、やりがいのある仕事だと思います。3Kと言われていても、社会の偉い人も会社員もいますが、建物や道路がないと成り立たないので、人が生きていく上で大切な仕事だと思います。大変なところもあると思いますが、自分としては少し我慢してもやるべきことであり、大切な仕事だと思います。



今市工業高等学校  
建設工学科  
松本聖矢さん

## ●工業高等学校に進学した理由は何ですか。

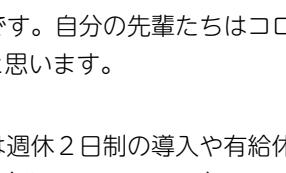
小さい頃から家の手伝いなどで家具を作ったりしていました。そこからものづくりが楽しくて工業高校へ進み、大人になったらそういう仕事に就きたいと思っています。

## ●本日とちぎ建設業合同企業説明会に参加した感想をお聞かせください。

学校ではなかなか聴けないことを、直接企業の方から聴けてよかったです。仕事の内容や現場で使う機械、物も知ることができ、これからの進路を決める良い機会となりました。

## ●栃木県内の建設業界のイメージをお聞かせください。

今までこの仕事は休みが少なく、また危険で汚れる作業が多いイメージがありました。けれど、今日の話を聞いて、週休2日制の企業も増えていて、中にはレクリエーション等がある企業もあり、自分たちのような若い人も楽しんでいるイメージを持ち、入社しても楽しそうだなと思いました。



宇都宮工業高等学校  
環境土木科  
関口一颯さん

## ●工業高等学校に進学した理由は何ですか。

2019年に台風19号の影響で家の近くの橋が流されてしまい、生活に支障が出たとき、復旧に向けて工事をする建設業の方々の働く姿を見て、憧れを持ちました。

災害を経験したことで、身近にある橋や道路などのインフラ整備の重要性を感じ、将来は人の役に立つ事がしたいと思い、また自分の仕事が地図に残る仕事はいいなと思い宇都宮工業高等学校に進学することを決めました。

## ●本日とちぎ建設業合同企業説明会に参加した感想をお聞かせください。

複数の企業のお話を聴いて、企業の比較ができるよかったです。自分の先輩たちはコロナ禍でこのような機会がなく、自分はとても良い機会を得たと思います。

## ●栃木県内の建設業界のイメージをお聞かせください。

建設業は昔からいわゆる3Kのイメージがありますが、今は週休2日制の導入や有給休暇、女性男性関係なく産休・育休も取得しやすい環境づくりが進んでいることがわかり、世間的にも建設業のイメージは変わっていくと思います。